

教育相談

072-941-3365

情報推進

072-943-5785

研究・研修

072-943-5784

八尾市ホームページ <https://www.city.yao.osaka.jp/>  
（「教育委員会」のページよりご覧ください）

## 第3回 初任者研修

日時：令和2年7月9日(木) 15:00～17:00  
講師：八尾市教育委員会総務人事課・教育センター指導主事  
内容：「教職員の服務、勤務条件について」「授業づくりI」

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、集合型の研修を中止とし、動画を活用したweb研修をそれぞれの学校で実施していたため、今回が初めての集合型の研修となりました。

「授業づくりI」では、学習指導要領に基づいた授業づくり、児童生徒主体の授業づくり、道徳の授業について研修を行いました。

「先生が教え込む授業」から「子どもが学びとる授業」の実現に向けて、学びを引き出す工夫や、様々な教材・教具等の活用について学びました。

受講者からは「子ども達が好きと思える授業づくりを研究して行いたい。」「これまで以上に子ども主体の授業づくりについて具体的に考えていくことが大切だと感じた。」といった感想があり、児童生徒が主体となって学ぶことができる授業づくりについての理解が深まった研修となりました。



## 保育のための基本講座—幼・小連携— ①

日時：令和2年7月6日(月) 15:00～16:45  
場所：八尾市教育センター 大研修室I  
講師：卜田 真一郎さん（常磐会短期大学 教授）

「幼児期の遊びを通して育まれる力とは」と題してご講義いただきました。「遊びは子どもにとっての学習」の講義の中で、「タコとタヌキ」のゲームを実際に先生方に体験していただき（非接触での体験）、その遊びの中に含まれる要素についての分析も行いました。

受講者からは「子どもたちが遊びの中で面白いと思ってくり返し遊び込んでいくことの大切さを再確認することができました。」「保護者に、「この遊びで育っていることは何か」を伝えていくことの大切さも感じました。」「1つの活動の中でも、楽しみ方はそれぞれ違うんだと改めて感じました。」といった感想がありました。



## 八尾市立学校 10 年経験者研修

日 時：令和 2 年 7 月 2 日（木） 15：30～17：00

場 所：八尾市教育センター 大研修室 2

講 師：八尾市教育センター指導主事

八尾市立学校の教職経験 10 年目の教諭に対して、教育公務員特例法第 24 条の規定に基づき、現職研修の一環として個々の教諭の能力、適性等に応じて必要な事項に関する研修を実施し指導力の向上等、中堅教諭としての資質の向上をはかる目的で年間を通して研修を行っています。

本年度の研修は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、動画での研修やレポート研修など実施方法も例年とは違った研修を行っております。本年度、受講者全員が集まったの研修は今回が初めてでした。

研修では、「組織づくり・チームビルディング」について学び、校内において自らが果たす役割を認識し「チームとしての学校」をつくるための学校組織づくりについて学びました。強い組織になるためには組織としての成長段階があることを考えたり、受講者自身の「強み」についてあらためて振り返り、その「強み」をいかし組織をつくっていく、「リーダーシップ」について考えたりする講義を行いました。



自分の強みをいかしてリーダーシップを発揮し、強い学校体制を構築することを学んだ受講者からは、「自分の資質をいかして、学年みんながまとまりのある集団になれるように共感していきたい。」「若手教員がふえる中ミドルリーダーとしての役割をしっかりとつとめていきたい。」という感想があり、学校運営の中心になっていく自覚を確認できた研修でした。

## 第 1 回 八尾市学力向上担当者会

日 時：令和 2 年 7 月 2 日（木） 15：30～17：00

場 所：八尾市教育センター 大研修室 1、コンピューター室

講 師：村川 雅弘さん（甲南女子大学 教授）

ねらい：・コロナ禍でのカリキュラム・マネジメントや学習の工夫について学ぶ。

- ・各校の学力向上に係る取組みや、新型コロナウイルス感染防止を意識した取組みの工夫などについて交流し、自校の実践に活かす。



毎年、指導課が中心となって、「八尾市学力向上担当者会」を実施しています。今年度は、指導課と教育センターの共同研修として実施しました。

講師の村川先生には Zoom を使用した、リモートによる講義をしていただきました。

受講者からは「第 2 波、第 3 波に備えた、一人学びの力の育成の必要性を感じました。」「子どもたちに一つの教科を通じてだけでなく教科横断的に、また日々の経験や学びから力をつけていくことが大事。」「子どもたち自身に対策を考えさせるのも大切なのかと思いました。」といった感想がありました。

